



高専用語がよくわかる「高専辞典」



【アドミッションポリシー】

アドミッションポリシーとは、学校の教育理念、目的、特色などに応じて受験生に求める能力、意欲、適性などについての考え方をまとめた入学受け入れの基本的な方針をいいます。各高専で、募集要項・学校案内に掲載していることが多いので、詳細は興味のある高専の学生募集要項をご覧ください。

【インターンシップ】

インターンシップとは、学生が企業などにおいて自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行う制度です。多くの高専で単位認定化されています。



【学科】

全国に設置されている高専には、機械系、材料系、電気電子系、情報系、物質系(化学系)、土木建築系、船舶系、その他さまざまな「学科」があります。

【学年制・単位制】

学年制とは、学年という期間を単位として当該学年の教科・科目全体の履修と修得の状況の評価して、その課程の修了を認め、上位の学年における課程の学習に進ませる制度をいいます。単位制とは、学年による教育課程の区分を設けず、単位の累積により教育課程の修了を認定する制度をいいます。

【教育課程】

高専の教育課程は一般科目と専門科目がくさび型に配置されており、1年生から徐々に専門教育が導入され、学年が上がるにつれて増えていく教育課程に特徴があります。

【研修旅行】

研修旅行は、一般課程で修得した知識や、専門課程で修得した知識・技能の裏づけをはかるとともに、実社会の生きた知識を身につけ、将来広い視野に立つ有為な技術者となるための基礎的素養の育成を目的として各高専で実施されているものです。最新鋭の工場設備の視察や企業経営者のお話などためになることだけでなく、やっぱりみんなで旅行できることに楽しみがあります。

【高等専門学校制度】

高等専門学校は、理論的な基礎の上に真に実践的な技術を身につけた第一線の技術者の養成をめざし、中学校卒業後5年間(船舶に関する学科は5年6か月間)の一貫した教育を行う新たな学校制度として、1961年に制度化され発足したものです。現在、国立で51校、公立で3校、私立で3校、計57校が設置されています。高等専門学校を卒業した者は、「準学士」と称することができ、大学に編入学(2年次または3年次編入学)することができます。



【資格取得】

公的資格について、卒業する学科が資格を所管する官庁より認定を受けていれば、所定科目の単位を修得することによって資格の受験科目が免除されることがあります。危険物取扱者、情報処理技術者、無線従事者、電気主任技術者、電気工事士など、詳細は各高専にお問い合わせください。また、TOEICについて、一定基準以上の点数を取ると単位認定される制度を設けている高専もあります。

【JABEE(ジャビー)】

国際的に活躍できる技術者を養成する工学教育プログラムを認定するために日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board for Engineering Education: JABEE)が設立され、2001年から認定審査が開始されました。2007年度までに151校、368のプログラムが認定されています。JABEEによって認定された技術者教育プログラム(高専本科4年から専攻科2年までの教育)の修了者は、新技術士制度での国際的技術者資格となる技術士(Professional Engineer Japan: P.E.Jp)資格試験の第1次試験が免除されます。

【シラバス】

高専で行われる授業科目の担当教員や内容、スケジュールなどを授業科目ごとに記したものです。高専生はこのシラバスをみて、どのような授業が行われるか、成績はどのようにつけられるのか、他の授業との関係はどのようになっているかなどを知ることができる。

【専攻科】

高専の専攻科は、高専本科卒業後の2年間の教育課程で、高専本科での教育をベースにして、「精深な程度において工学の高度な専門知識と技術を教授し、その研究を指導する」ことを目的としています。また、高専の専攻科は大学評価・学位授与機構の認定を受けています。専攻科修了者は一定の要件を満たせば、大学評価・学位授与機構に申請して学士(工学)の学位を取得でき、同時に大学院への入学資格を得ることができます。

【全国高等専門学校体育大会】

各地区の高専体育大会を勝ち抜いてきた高専生が集い、14ある競技種目を競う大会です。高専教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催しています。

【卒業研究】

卒業研究は、配属された研究室で1年間、各学科の課程で修得した専門知識を基に、各自が研究課題に取り組み、自主・継続的に問題解決するためのデザイン能力を養うことを目的とします。また、制約条件下での課題克服に向けて、その最適手法を探索する能力を身につけます。さらに、研究活動を通じて論理的思考力とそれを表現する記述力を高め、その上で研究課題について発表・討論できるコミュニケーション能力を身につけます。



【大学編入学制度】

大学の2年次または3年次編入学試験は、大学ごとに試験科目や試験日程が定められており、英語、専門科目もしくは物理や化学、数学といった科目を中心に行われます。高校からの一般入試に比べ試験科目が少ないです。複数校の受験が可能で、大部分の学生が現役で合格しています。

【単位】

単位とは、個々の授業科目の修得に必要な学習量の基準のことです。高専には従前からの履修単位(高専単位)と学修単位(大学単位)があります。それぞれの1単位における学修時間は高等専門学校設置基準に定められています。高専単位は1単位時間を50分とし、30単位時間の履修をもって1単位とします。学修単位は、単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、講義および演習については、15時間~30時間の範囲で、実験、実習および実技については、30時間~45時間までの範囲で、各高等専門学校が定める時間をもって1単位とします。

【デザコン】

「全国高等専門学校デザインコンペティション」は建築教育の技能研鑽および学生設計技術の向上を研究するシンポジウムとして始まり、2004年には、デザインの領域を「人が生きる生活環境を構成するための総合的技術」ととらえ直し、建築学科の枠を廃し土木建築系学科を中心に高専全体が取り組む「全国高専デザインコンペティション」に生まれ変わりました。ここでは、土木建築に関する各競技部門のテーマに基づき、各校よりアイデアや技術が提案され、競い合います。



【入試】

高専入試は、推薦入試(定員の20~50%程度)、学力入試、AO入試があります。高等学校や中等教育学校を卒業または、卒業見込みの者を対象とした4年次編入学試験もあります。詳細は各高専にお問い合わせください。なお、AO入試(アドミッション・オフィス入試)は、出願者自身の人物像を学校側のアドミッション・ポリシーと照らし合わせて合否を決める入試方法です。学力試験の結果で合否が決まる従来の一般入試とは異なり、志望理由書や面接などにより出願者の個性や適性に対して多面的な評価を試み学力は問わない点に特徴があります。



【ブレコン】

全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストは、全国の高等専門学校における学生の英語表現力の向上、ならびに学校間の親睦・交流を図り、国際感覚豊かな技術者の育成に寄与することを目的として実施されています。競技内容は、スピーチの部とプレゼンテーションの部があります。

【プロコン】

全国高等専門学校プログラミングコンテストは、高専生が日ごろの学習成果を活かし、情報処理技術におけるアイデアと実現力を競うものです。複数部門で作品の募集があります。本コンテストは、応募作品の発想の柔軟性やそのレベルの高さにおいて、関係各界から高い評価を得ています。また、マスコミでも大きく取り上げられ、創造性教育のプロジェクトとしても注目を集めています。



【ロボコン】

全国高等専門学校ロボットコンテストは、全国から57校62キャンパスの高専が参加する全国規模の教育イベントで、1988年から毎年開催されています。各キャンパスから2チームがエントリーし、全国8地区(北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国・四国・九州沖縄)で開催される地区大会に出場します。そこで選抜された25チームにより全国大会が開催されます。